

学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
数 学	数 学 Ⅲ	3	理 数	選 択	5
使用教科書 ・副教材等	新編 数学Ⅲ (数研出版) クリアー数学Ⅲ (数研出版)、ニューアクションβ 数学Ⅲ (東京書籍)				
学習目標	微分法、積分法、複素数平面、2次曲線において、基礎的な知識と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばし、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期中間 考査まで	第4章 極限 1. 数列の極限 2. 関数の極限 第5章 微分法 1. 導関数 2. いろいろな関数の導関数	<ul style="list-style-type: none"> 無限級数の考え方や収束・発散、極限值について理解を深める。収束・発散する数列を用いて、いろいろな数列の極限值が計算できるように学習する。 関数の極限の考え方や連続性、収束・発散について理解を深め、いろいろな関数の極限值を計算できるように学習する。 積・商または合成関数の導関数を求めるための公式を利用し、微分の計算法を学習する。 三角関数、指数関数または対数関数などの導関数を求める方法を学習する。
一学期期末 考査まで	第6章 微分法の応用 1. 導関数の応用 2. いろいろな応用 第2章 式と曲線 1. 2次曲線 2. 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> 曲線の凹凸と第2次導関数の符号の関係を理解し、いろいろな関数のグラフのかき方を学習する。 平均値の定理の意味を理解し、関数の増減との関連性について学習する。 楕円・双曲線・放物線の定義・標準形・性質について学習する。極座標の表し方を理解し、曲線を極方程式で表すことができるようにする。
一学期中間 考査まで	第7章 積分法とその応用 1. 不定積分 2. 定積分 第7章 積分法とその応用 3. 積分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな関数の不定積分・定積分の計算ができるようにする。また、置換積分法・部分積分法・区分求積法の適用の仕方を理解し、これらを利用した計算ができるようにする。 定積分を用いて、曲線等で囲まれた図形の面積を求める。また一般の立体の体積や、回転体の体積が求められるようにする。
一学期期末 考査まで	国公立大学2次試験対策演習 センター対策演習	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題を利用して、既習事項の復習をする。 客観問題を中心に演習し、センター試験に向けての対策を行なう。
学年末 考査まで	国公立大学2次試験対策演習	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題を利用して、既習事項の復習をする。
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。</p> <p>【数学的な見方や考え方】授業中の解答状況や発表、課題、定期考査等で判断する。</p> <p>【数学的な技能】授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。</p> <p>【知識・理解】授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。</p>	